

2 四面体 OABC がある. 辺 OA を 2 : 1 に外分する点を D とし, 辺 OB を 3 : 2 に外分する点を E とし, 辺 OC を 4 : 3 に外分する点を F とする. 点 P は辺 AB の中点であり, 点 Q は線分 EC 上にあり, 点 R は直線 DF 上にある. 3 点 P, Q, R が一直線上にあるとき, 線分の長さの比 EQ : QC および PQ : QR を求めよ.
(21 京都工繊大・前期)

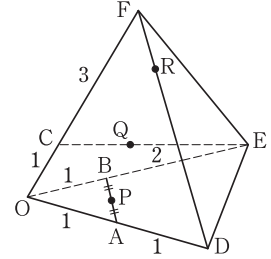
2 **【数学B】【ベクトルと図形(空間)】【標準】**
【考】 「日本ではベクトル教育は行われていない. 問題文に『 $\vec{OA} = \vec{a}$, $EQ : QC = (1-s) : s$ とおけ』などと, すべてお膳立てがしてあり, 後はこれで計算しなさいという, ベクトルに名を借りた計算問題が行われているだけである」というのが, 私の主張である. 本問は問題文に, ベクトルという言葉がない. 方針が立たない生徒が多い. 教育的な問題である.

図形問題は, 解法を選択が問題である. 図形的に解く. ベクトルで計算する. 三角関数で計算する. 困ったら座標計算する. 今は比が多いからベクトルである.

式の立て方が問題である. $\vec{OA}, \vec{OB}, \vec{OC}$ を基底にして式を立てるのはよいだろう. $EQ : QC$ を求めるから, これを設定して Q を表示する. Q は線分 EC 上にあるから, 内分比を設定する. $PQ : QR$ を求めるから $\vec{QR} = k\vec{PQ}$ と置くのもよいだろうか? $\vec{PQ} = k\vec{QR}$ でも同じである. ただし, R はとても遠くにある.

さらに, 文字の消去の仕方も問題である. よく見て, 1 つずつ文字を消していこう. 下手な消し方をすると分数式が出て来る. k には手を触れないで, s, t を消去していこう. k を無視して, 「 $2t, -3s, 3-4t+s$ 」 「 $-\frac{1}{2}, 3s-\frac{1}{2}, 1-s$ 」 から s, t を消すのである.

▶解答◀ $\vec{OA} = \vec{a}, \vec{OB} = \vec{b}, \vec{OC} = \vec{c}$ とおく.



$\vec{OD} = 2\vec{a}, \vec{OE} = 3\vec{b}, \vec{OF} = 4\vec{c}$ であり $\vec{OP} = \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2}$ となる. また, Q は EC 上, R は DF 上にあるから

$$\vec{OQ} = s\vec{OE} + (1-s)\vec{OC} = 3s\vec{b} + (1-s)\vec{c}$$

$$\vec{OR} = t\vec{OD} + (1-t)\vec{OF} = 2t\vec{a} + 4(1-t)\vec{c}$$

 よって

$$\vec{PQ} = \vec{OQ} - \vec{OP}$$

$$= -\frac{1}{2}\vec{a} + \left(3s - \frac{1}{2}\right)\vec{b} + (1-s)\vec{c}$$

$$\vec{QR} = \vec{OR} - \vec{OQ}$$

$$= 2t\vec{a} - 3s\vec{b} + (3-4t+s)\vec{c}$$

 P, Q, R は一直線上にあるから, $\vec{QR} = k\vec{PQ}$ とおけて

$$2t\vec{a} - 3s\vec{b} + (3-4t+s)\vec{c}$$

$$= -\frac{k}{2}\vec{a} + k\left(3s - \frac{1}{2}\right)\vec{b} + k(1-s)\vec{c}$$

係数を比べて

$$2t = -\frac{k}{2} \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

$$-3s = k\left(3s - \frac{1}{2}\right) \dots\dots\dots \textcircled{2}$$

$$3-4t+s = k(1-s) \dots\dots\dots \textcircled{3}$$

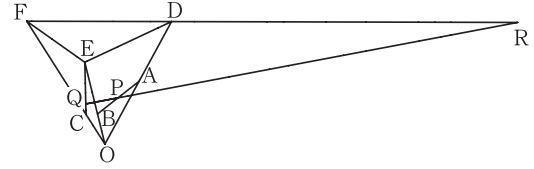
となる. $\textcircled{2} + \textcircled{3} \times 3$ で s を消去して

$$9-12t = \frac{5}{2}k \dots\dots\dots \textcircled{4}$$

 $\textcircled{1} \times 6 + \textcircled{4}$ で t を消去して $9 = -\frac{1}{2}k$ となる. $k = -18$ となり, $\textcircled{1}$ に代入し $t = \frac{9}{2}$ で, $\textcircled{2}$ に代入し -3 で割ると $s = 6\left(3s - \frac{1}{2}\right)$ で, $s = \frac{3}{17}$ となる.

$$\vec{OQ} = \frac{3}{17}\vec{OE} + \frac{14}{17}\vec{OC}, \vec{QR} = -18\vec{PQ}$$

$$EQ : QC = 14 : 3, PQ : QR = 1 : 18$$



【注意】 最初の図は不自然で, とても P, Q, R が一直線上にあるとは思えないだろう. 実際の位置関係は上のようになっている.